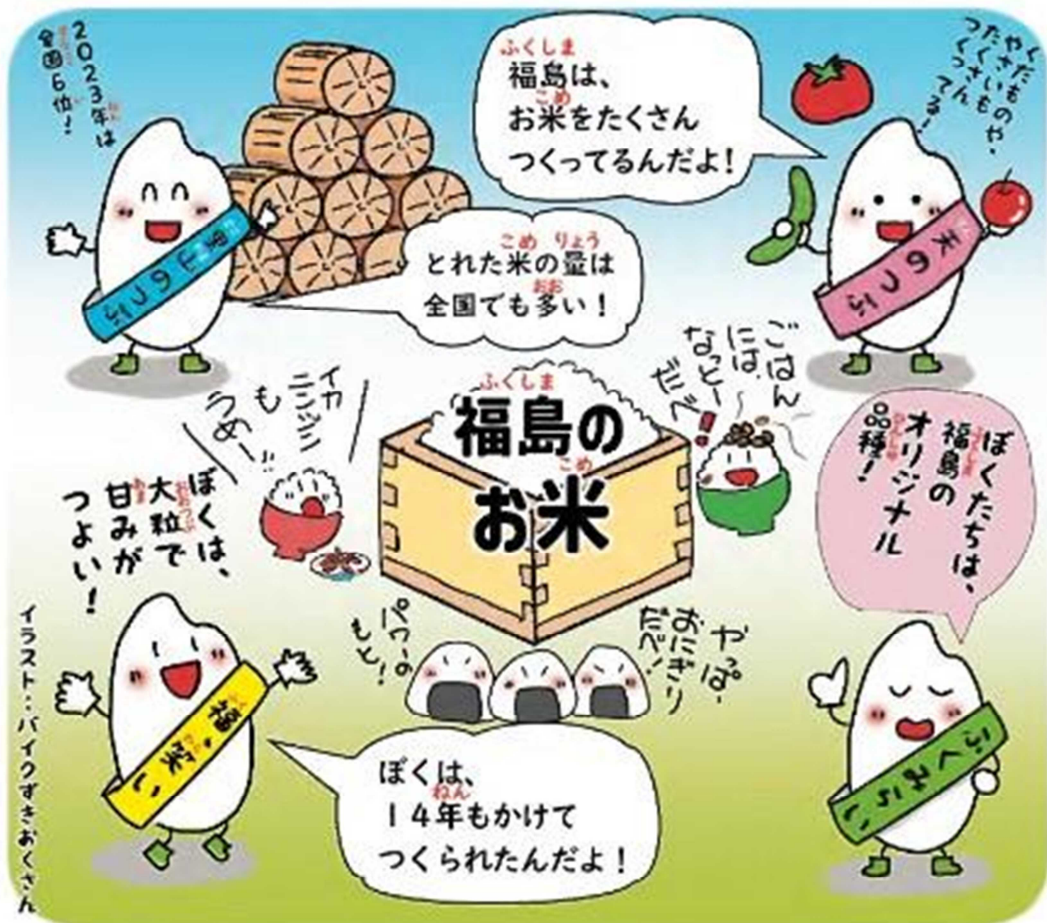




米どころ福島県

【メモ】米のオリジナル品種の開発には、早くて10年かかると言われています。「梅、笑い」は福島県が14年かけて作った一番新しい品種です。

収穫32万ト 独自品種も

福島県は米をたくさん作っている県です。毎年、県全体でとれる農産物売った金額（農業産出額）のうち、だいたい30%が米です。2023年に県内でとれた米の量は約32万7600トで、全国6番目の多さでした。

県外の米の産地との競争に勝つために開発された、県オリジナル品種の米もあります。ごはんとして食べられることが多い「うるち米」のオリジナル品種は四つで、多く作られているのは「梅、笑い」「天のつぶ」「里山のつぶ」の三つ。このほかに「ふくみらい」があります。それぞれに味の特徴があります。「梅、笑い」は大粒で甘みが強く、21年に販売が始まりました。

▲ 6月 5日 福島民友新聞掲載

きじをよんでおもったこと、みんなとはなしてかんじたことをかこう。(120字くらい)